

10 科学捜査の推進

1 DNA型鑑定

DNA型鑑定(イメージ)



2 ポリグラフ検査

ポリグラフ検査(イメージ)



DNA型鑑定は、565京人に1人という確率で個人識別を行うことが可能です。

また、ポリグラフ検査は、生理反応の変化を測定し、容疑者が事件の詳細事実を認識しているかどうかを判断するものです。

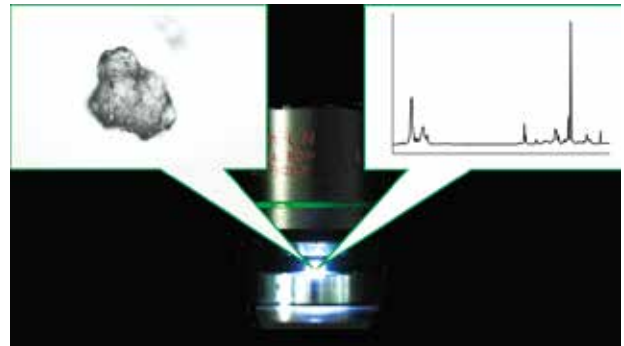
3 物理(工学)鑑定

火災再現実験



4 微細証拠物件鑑定

微細証拠物件鑑定(イメージ)



物理(工学)鑑定は、施設での再現実験のほか、犯罪現場に臨場するなど犯罪の立証に努めています。

また、微細証拠物件の鑑定は、犯人と犯行現場、犯人と被害者を結び付ける重要な役割を果たしています。

科学捜査研究所では、犯罪の悪質化・巧妙化等に対応するため、鑑定・検査業務を推進しています。

科学の目で県民の期待に応える力強い警察の確立を図っています。